

5-6

福岡

傍

局長	海軍
一隊長	海軍
A	海軍
B	海軍
E	海軍
J	海軍
G	海軍
F	海軍

緊急

福岡

岡

通電先 参謀次長 總海軍總長
参謀第七八二號 其ノ一二

六日戦闘要報

一五日夜間飛行第六〇戰隊ノ重爆三機ヲ以テ〇二二〇乃至〇三〇〇ノ間沖繩島北及中飛行場攻撃内一機ヲ以テ空中寫真偵察確認セル戰果
北飛行場炎上四ヶ所中飛行場炎上二ヶ所大火災二ヶ所損害二機小破

セルモ無事

二本六日〇八〇〇乃至〇九〇〇ノ間特攻一三機ヲ以テ沖繩島周邊ノ敵

艦船攻撃戦闘機七ヲ以テ之ヲ掩護セリ
戰果調査中
菅原、谷島、森、田

通信局

岡

菅原

谷島

森

田

至 急

作

● 四海上護衛隊、大島防備部隊

● 大海空一部・聯合艦隊口・五航空艦隊口・鹿兒島在勤武官

機務第〇六一三三〇番電 二分ノ一二

大島ニ對スル基地輸送並ニ列島線ニ不時着セル搭乗員ヲ救助ニ關シ概
ホ左ニ依リ準備ヲ進メ置カレ度

一、基地山川又ハ泊浦附近口永良部附近スヲ瀬島附近實島附近(以上四
派遣擔任)笠利灣又ハ夕瀨(大島擔任)

二、使用舟艇

(1) 機帆船(高瀬ノ手ノヲ手配中)

通三六六八 天ニケ八 (五二〇〇K) 佐 辻山、甲田(三五)丁

(a) 大發一七米四機一四米四集機揚用
 (b) 俾艇若干(港灣人員救助ニ使用)
 三 要領 壹間基地ニ於テ 底的換裝待機シ夜間行動ス
 四 基地員トシテ特配セズ所在見張所員住民ヲ利用スルヲ建前トス

五 六 受信一五四五 歸了一五四五 電〇三二二三六 航作 概本〇

作戰緊急



一機動基地航空部隊天作命機務所

機密第〇六一三四六發

一 K F G B 天信電令作第二八六號
 本日ノ機動部隊攻撃待機ヲ解ク。

通三三九八九 呂一B(七八七五K) 一 K F G B 放 鈴木(吉田)

5-6 1302

陸軍航空通信隊

至急

五六

受信開始 一六三二
一六四二

了 一六四七

電 〇三二五七

作

停

天一號作戰部隊

六航軍派遣通信隊

機密番 〇六一四一五番電

第八飛行團双輕三機六日〇四〇〇頃北飛行場西南部掩護地區攻撃炎
上四箇所全機歸還

通三六三四

於一六(九八三〇) 佐二放

山本(出)

5-6 1303

⑥ 6航軍派遣通信隊

1/2

緊急 聯合艦隊口・庫屋空基地

機密第〇六一四四五番電

六航軍派遣通信隊

球情報 (五日夕)

〇六三〇一八三〇ノ間延二三〇來襲増機ヲ附シアル編隊アリ
目視ニ依ル進入脱去方向一四〇度北飛行場大型機ノ發着頻繁ナリ。

通三六七五 口一八七一 (五二〇〇) 佐通 長尾 (鈴三)

1304
5-6
根 沖

五 六
受 信
始 一六〇一
一六一五

譯 了 一六一七
電 〇三二四六
作 概 〇

緊 急

沖 根

停

天一號作戰部隊

機密第〇六一五二九番電

慶良間南方ニ游弋中ナリシ特設航空母艦ハ一五〇〇南方視界外ニ去ル

通三六二一

於一六(七四六〇K) 沖根 山本(上野)

沖繩島南端見張所

敵情報告

一七〇度一〇新機種不詳、針路九〇度、二三〇度、
 二四〇度三〇新小型機種二動靜不明、二五〇度一五新機種一雙針路
 三三〇度二〇新機種一隻海泊、三四〇度二〇新機種一隻海泊、
 中型三大型一動靜不明、三四〇度ヨリ三六〇度迄濃霧、爲視認シ得ズ
 敵機十數機南上空旋回、燒煙シアリ、水偵一機湖上南部上空旋回中
 三〇〇度三〇新小型機種一動靜不明、二七〇度二五新舟艇一針路三〇
 適三七五一 於十五(七八七五K) - KTB放 清 水(吉田)(一)

機密第〇六一五五〇番

天一機作戦部

緊急

沖繩島南端見張所

作戰緊急



● 一機動基地航空部隊

機密 〇六二六三七

飛行場使用不能明朝〇三三〇頃迄長九〇〇米幅八〇米復舊、見込
一六三五。

通三六七二 於一六(七八七五)KG(一KFGB)放山本(様) (澤)

〇度、二八〇度一五新巡洋、三〇〇度一五新巡洋一針路三六
〇度、三一五度二〇新小型艦艇一動靜不明、三一五度一五新巡洋一針
游弋中二〇新巡洋艦一隻小型艦艇一動靜不明。

⑤ 5基地航空部隊

作戰緊急

⑤

五基地航空部隊作戰命令着信處所

機密第〇六一六四七番電 二分ノ六二

五FGB電令作第一一四號第三次機作要領左ノ通り定ム

一 加益島兵力偵察隊及鳩隊

二 索敵偵察隊偵察攻堅機ハ左ニ依リ索敵偵察實施

(1) 第一次彩雲一機一〇三〇發進地點「ヌヤ三ウ」ヲ中心トスル六

〇 渾園内索敵竝ニ機接

(2) 第二次彩雲一機一二〇〇發進同右竝ニ機果偵察

(3) 紫電一機「機作戰發動」ノ令ニ依リ速ニ發進機偵察

三 零戦ノ全力一四三〇以後即時發進シ待ル如ク準備完了(攻堅時刻

ヲ一六三〇一七〇ト二〇四〇ノ令ニ依リ發進攻堅
一東通註 本電誤字極ナクテ多シ誤字ノ爲遲延
通三七六九 呂一Bケ一(五〇八五)高空港地 石川・奥野

5-6

1309

第五基地航空部隊

作戰緊急



第五基地航空部隊
第五基地航空部隊
第五基地航空部隊

機密第〇六一六四九番電

第一第二階艦隊及九七式轟攻特攻ヲ以テ明七日以後橋作戰特攻ヲ實施
ノ豫定。

通三六八六 呂一B(一一三四七五K)五PQB放 東(吉) 田)

五 六 受 始 一 八 三 五 一 九 一 二 〇 三 三 〇 〇 航 本 〇

5~6

石垣島空基地

通 三六九五 才十六 (一一三四七。五 KC) 五 F G B 放

高橋 (鈴 三)

本日被彈ノ爲海陸軍飛行場共滑走路使用不能。



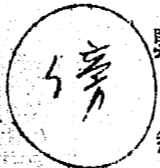
第五基地航空部隊臺灣方面飛行機配備基地

機密 第〇六一七〇三番電

至 急 石垣空基地

5-6
無線電所用共通符号

緊急



先遣部隊

機密第〇六一七一九番電 二分ノ二

先遣部隊綜合情報第八〇號

一、沖繩陸上、上原棚原方面ヨリ攻勢前進中ナルモノ、如キモ第一線ハ砲聲煙ノ爲視認出來ズ午前來襲後延八八水上ヨリノ砲撃モ亦低調ナ

三、菊水五號作戰戰果ハ綜合情報第七九號所報ノ外小型空母一機沈中

型空母二隻破 艦種不詳二隻沈破 油槽船一隻破

三、沖繩周邊口區〇六一五戰艦五隻 巡洋艦二隻 驅逐艦二隻 輸送船

六〇隻（内戦艦三隻〇六三〇兩下）糸滿沖一〇三〇 B一 D六隻

通 三七五八

呂一Bヶ十一（五二九五）六F（P）

小糸・日野原（P）

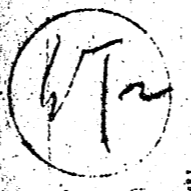
田（）

良間特空母一隻D四アリ
四本日敵機動部隊ヲ發見ヒズ
五硫黄島基地ノB一二四ハ最近電探ヲ避ク五〇〇乃至三〇〇米ノ低高
度ニテ本土南岸航行船舶ヲ攻撃スルコトアリ。

至 七
急 〇
六航軍派遣通信隊

麻屋航空基地
大海参一部

機密第〇六一七三五番電



六航軍機動隊五日

重機四機發進二機〇四三〇頃北飛行場攻撃一箇所炎上一機目標ヲ確認
二〇五〇一機攻撃後高射砲ヲ受ク戦果消息不明一機往航飯島南西一六
〇軒附近ニテ敵夜戦ノ攻撃ヲ受爾後消息不明六日重機各一機〇二二二
北中飛行場攻撃北飛行場炎上四箇所中飛行場炎上二箇所大炎二箇所。

通三八六五 ロ一Bケ一 (五二〇〇) 佐通
鈴木(鈴三)

5~6,7 1313
⑥ 6航軍派遣通信隊

5~6
⑧沖繩根P

通三七六一
ロ一Bケ七(三七三)
CC(佐鎮陸上)
昌永(鈴三)

聯合艦隊參謀
敵機ノ攻撃ハ首里南方糸満湊川方面ノ擴張範圍ニ亘リ實施セラレタリ
艦砲射撃又ハ同シ本日延來機數一四二内攻撃セルモノ一二九(TB
F七五SB二〇三一F四U一 一七F六F一四六)

⑧

緊 急
天一號作戦部隊

機密第〇六一八〇一番電

沖 繩 根 P

⑧

5-6 1315
② 喜界航空基地

五 六 受信二〇四〇九 了二一一〇 電〇三三五八 作

緊急

喜界航空基地

停

一機動基地航空部隊

機密第〇六一八〇二番電

一、本日ノ綜合來襲狀況

〇六五〇ヨリ一七四五迄F六F・F四U 四乃至六ヲ以テ哨戒セル
モ在空時間ハ概ネ一時間程度ニシテ連續的ナラズ三〇分乃至一時間
間隙アリ銃爆聲セルモ延十六機哨戒爆撃共ニ最近ニナク低調ナリ

二、戦果

一機撃破三機 被害滑走路或彈敷箇所明白〇三三〇迄使用不能

通三七九三 於十六(三九三七・五七)一KFGB放小野寺(飯田)

喜界航空基地

5-6

① 航軍派遣通信隊

五 六 受信 三三〇一〇
至 急

一〇 舞丁 二三五 〇五〇一
② 六 航 軍 派 遣 通 信 隊



③ 大海軍一部・海軍總隊司令部・鹿島航空基地

機密第〇六一九一四番電

知覽特情四日〇三二五號沈「ドウアマウス」大破「カナカ」不詳
中破「オシロ」不詳二、〇二〇五「パワフル」魚雷攻撃ヲ受ケタル
モ損害ヲシ四日薄暮一九三六「ニヘントン」攻撃ヲ受ケ次第二一三八
沈没艦破「エアデル」

（東通註 本開開始符不明ノ爲連延）

通三八三一 呂一Dケ一（五二〇〇K）佐藤 高 原（小幡）

5-6

所張見島久

通三八三二 於五(四九一五) 佐二放 中田(標 澤)

六日一五一〇ヨリ一五四五迄夕ラス爆機機九〇度方向ヨリ來襲
全島ニ對シ飽爆ヲ行ブ九〇度方向ニ避退ス
我新探室直口爆機六ヲ受ケ爆破炎上セリ兵器搬出ノ外人員兵器異狀
ナシ民家六箇所火災。



佐領區敵情着信處所

機密第〇六一九一五番

○久米島見張所

五六 開始二一四八〇 了二二一〇 〇三三八四 作信

5-6

急



海軍總隊參謀長

福岡

情

〇六一二〇四〇

通電先 參謀次長 スイグ
六航空軍參電第七八七號 其ノ下ニ

一、本日期攻撃ヤル特攻一三機内八機ハ確實ニ沖繩附近艦船ニ突入ヤリ
 海軍戦闘機八機及誘導重爆一機ハ其狀ナクチランニ歸還ヤリ本日ノ
 攻撃ニ於テハ敵戦闘機ノ妨害殆ドナシ
 二、次期總攻撃ハ八日一九〇〇ト豫定シ之ガ準備着手ス
 三、第一攻撃集團長橋原大佐ハ直ニ福岡ニ歸還早々中部九州地區ノ海上
 攻撃ノ訓練及戦力充實ニ任ゼシム。

通三八九九 三九〇〇 協作

甲田（河田）

大 急 開始 〇四三〇五 〇五 計了 〇四五五 〇〇三五〇〇九八 本